

図書館だより

文化祭も終わり、学習に集中して取り組める季節になってきました。図書館の自習スペースを大いに活用して下さい！そして1万冊を超える蔵書の中から、道しるべとなるような1冊に、是非出会って下さい。



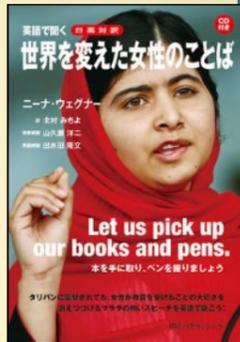
新収図書・蔵書紹介

わたしはマララ

教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女

(学研プラス) マララ・ユスフザイ/クリスティーナ・ラム著
金原瑞人・西田佳子訳

史上最年少で、ノーベル平和賞を受賞した16歳のパキスタンの女の子、マララの手記。「学校へ行くときは、教科書をスカーフの下に隠して道を歩いた。」そんな状況の中で、武装勢力が徐々に支配力を強めていく過程が緻密に描かれる…。



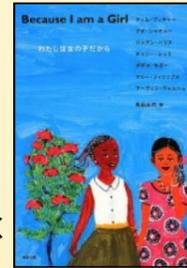
英語で聞く 世界を変えた女性のことば

(IBCパブリック) ニーナ・ウエグナー著
北村みちよ訳

CDと対訳が付いています。マララの熱いスピーチを英語で聞いてみましょう！

Because I am a Girl ——わたしは女の子だから

(栄治出版) ジョアン・ハリス/ティム・ブッチャー・デボラ・モガー著



「昔からそういうものだから」というだけで、受け継がれていく連鎖。自分の人生を良くしていこうという自由が認められず、抗う術を知らない女性たちの現実。7人の作家による短編集です。

今、世界で起きていることを知ってほしいと思います。今回は、世界の女の子たちを取り巻く、困難な現実を取り上げた本を紹介します。

わたしは13歳、学校に行けず花嫁になる。：未来をうばわれる2億人の女の子たち

(合同出版) 久保田 恭代・奈良崎文乃・寺田 聡子・プラン・ジャパン(著)

「女の子は負債」「女の子に教育は不要」と言う社会の決め付けの中で苦しみながら生きる。そんな中で彼女らは声を上げ始めています。

そして、女の子への差別や偏見は、同時に男の子をも追いつめているのです。



生徒の皆さんの感想より

「かわいい」論
(ちくま新書) 四方田犬彦 著

日本と世界の「かわいい」の違いがおもしろかった。(中1-A 女子)

百人一首で読み解く
平安時代(角川選書) 吉海直 著

「ちはやぶる」の映画を見て関心を持った。句の意味だけでなく背景も描かれていて理解が深まった。(高2-11男子)

確率のエッセンス
(技術評論社) 岩沢宏和 著

確率は生活のいろんな場面に関係するという発見が楽しかった。とつきにくかった条件付き確率も、親しみを感じるようになった。(高3-9 女子)



図書館利用状況 (延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
中学生	390	375	648	272	138	260
高校生	535	1005	1166	867	223	740
合計	925	1380	1814	1139	361	1000

先輩の声 (第3弾) !

図書館を利用して頑張った先輩たちです。皆さんも自習の場として図書館を活用して下さい！

爲國 香さん (大阪医科大学看護学部進学) 集約I類 (西宮市立浜脇中学校 出身)

1年の時から看護師や助産師の仕事に憧れ、大学では看護学や助産学を学び、有資格者となって、医療現場で人の役に立ちたいと思っていました。家ではテレビや音楽などの誘惑が多く、なかなか集中できませんでした。しかし、図書館には、邪魔になるものが一切なく、とても集中して勉強することができました。館内では、講座の後に、課題をやり遂げて帰宅するようにしました。そして、家では、気分を改めて、短時間で勉強するようにしてきました。

最後の二次試験に小論文があったので、図書館では、試験の直前まで対策勉強しました。命や医療や福祉に関する本がたくさん整理整頓されていて、それらを利用して「ノートづくり」をしたことが、合格につながったと思います。

後輩の皆さん、具体的な目標をもって、多くの誘惑に負けずに勉強を続けて進んで下さい。



2017年度版赤本配架!



関西の主要大学の赤本を中心に多くの大学の赤本をそろえています。志望校が決まった皆さん、迷っている皆さん、過去問を手に取り、実際に解いてみましょう。受験勉強の課題が見えてきますよ。



俳句甲子園出場作品 紹介

—第19回俳句甲子園全国大会出場—

第19回俳句甲子園全国大会に履正社高校2年生の5人が出場しました。予選の関西大会で句の優秀さが認められての出場でした。全国大会では、初戦で、東京の開成高校(優勝校)と当たってしまいましたが、しっかりディベートし、奮戦したそうです。

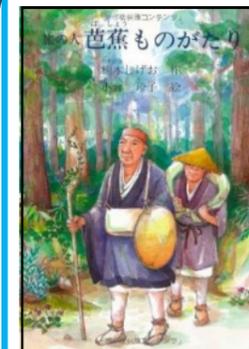
5人の皆さんの、瑞々しい感性にあふれた句を右に紹介します。



俳句にふれてみよう!

はじめてであう 俳句の本・秋の句

(あすなろ書房) 桜井信夫 編著/三谷鞠彦 絵
それぞれの俳句にイラストを付し、見ても楽しく、はじめて俳句に出会う人のために最適のシリーズ。



旅の人 芭蕉物語
(ジュニア・ノンフィクション)
(銀の鈴社) 楠木しげお 著

産経児童出版文化賞受賞。子どもにも大人にも楽しく読めます。奥の細道の足取りをたどる地図や風景の写真も説得力があります。

俳句歳時記 秋の部
(角川文庫) 角川書店 編



歳時記とは、俳句の季語を集めて分類・整理し、解説や例句を載せた書物です。四季折々の自然や、年中行事を表す言葉が載っています。



フリースロー決める少年水温(ぬるむ)
水温む名を呼ぶ声の遠くより
海も知らずに猫の子の目の碧(あおく)
野尻湖の象噴く水の温みけり
莓(めい)かめば太陽しやりとつぶす音

乾 八尋
津田 海
遠藤 瑞季
瀧本 さちほ
松井 知輝

俳句は味わう楽しみと共に、創作する喜びもあります。

俳句は季語をもちいて季節感を表現する文芸だといえることができます。季語をのせた「歳時記」を手にとるだけでも、日本独特の繊細な季節感に触れることができますよ。 [小池先生(高校国語科)談]